

TOTO

密結形ロータンク

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

安全に関するご注意 (安全のために必ずお守りください)

施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。

この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
△注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	してはいけない「禁止」内容です。		必ず実行していただく「強制」内容です。
--	------------------	--	---------------------

△注意

	陶器に強い力や衝撃を与えない 陶器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
	給水フレキホースを無理に折り曲げたり、たばこの火やカッターナイフなどで、傷をつけない 給水フレキホースが破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
	止水栓を開けたままで、給水フィルターを外さない 止水栓を開めないと水が噴き出して、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
	設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する

同梱部品

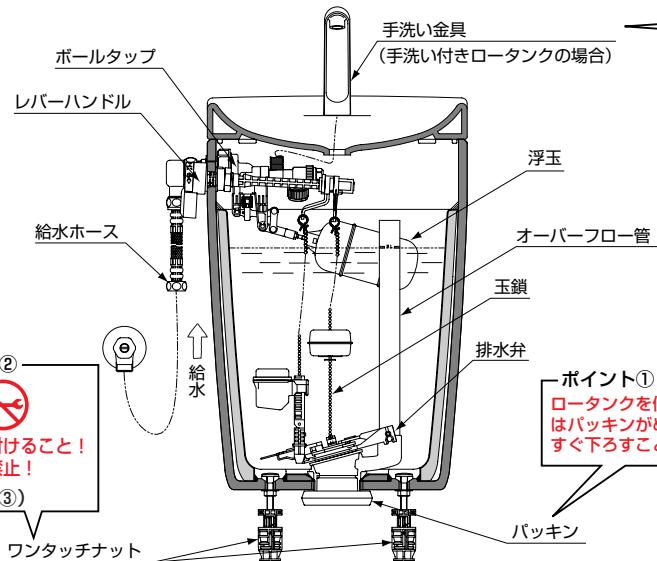
※部品があるか、下記を参照して確認してください。

タンク本体（ユニット）	タンクふた	パッキン
(1セット)	(1個)	(1個)
※略図は手洗い付きの場合を示す		
給水ホース	手洗い金具	
(1個)	(1個)	
※手洗い付きの場合のみ		
ワンタッチナット	その他	
(2個)	本紙 施工説明書 (1枚)	取扱説明書 (1冊)

各部のなまえと施工のポイント

既設給水位置について

既設給水に使用可能範囲については、便器に同梱の施工説明書をご覧ください。



ポイント③
じゃばら管締手を手洗い金具に確実にねじ込むこと！
(⇒ ②-②)

ポイント②
手で締め付けること！
工具使用禁止！
(⇒ ③-③)

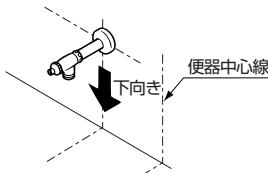
ポイント①
ロータンクを便器に取り付けるときはパッキンがめくれないように真っすぐ下ろすこと！
(⇒ ③-②)

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

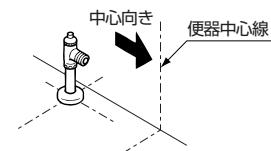
取付方法

1 止水栓の向き

〈左壁給水の場合〉



〈左床給水の場合〉



※器具を取り付ける前に、必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。

※壁給水の場合、給水フレキホースが無理なく取り付くように、止水栓の接続口の向きを調整してください。

※右給水の場合は、便器中心線に対し左右対称になるように施工してください。

2 便器の取り付け

便器に同梱の施工説明書に沿って、便器を取り付ける。

3 ロータンクの取り付け

① ロータンクにパッキンを取り付ける。



注意

- ・同梱のパッキンを上図のように取り付ける正しく取り付けないと水漏れします。
- ・パッキンはタンクの底に当たるまで、確実に挿入する

② ロータンクを便器に取り付ける。

便器給水口周辺のごみなどを完全に取り除いたあと、ロータンクを便器に取り付けてください。(水で湿らせるなど施工が確実に行えます)



下図のようにロータンクを真っすぐ下ろすように便器に取り付けると確実にシールできます。



注意

- ・パッキンおよび給水口周辺のごみを取り除く水漏れするおそれがあります。
- ・ロータンクを斜めに下ろさない
パッキンが正常に取り付かずシール不良で水漏れするおそれがあります。

③ ワンタッチナットでロータンクを固定する。

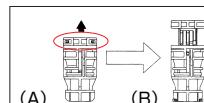
注意

- ・左右のワンタッチナットを確実に締めること
左右のワンタッチナットがしっかりと締まっていないと、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

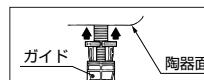
(1) つばが広がっていることを確認します。



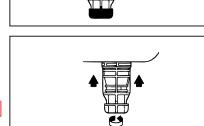
※(A)のとき、つばを引っ張り上げ(B)の状態にします。



(2) つばの上面が陶器面に当たるまでボルトに差し込みます。



(3) ガイドを少し回しながら押し上げます。



(4) 手締めで、「カチッ」と音がするまで(クリック感があるまで)締め付け、さらに、回らなくなるまでかたく締め付けます。



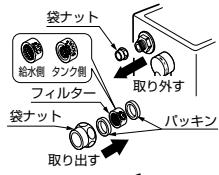
※再度、左右が確実に締まっていることを確認してください。

注意

- ・ワンタッチナットを締め付けるときは必ず手で行うこと。
- ・工具を使用すると破損するおそれがあります。

4 ボールタップと止水栓の接続

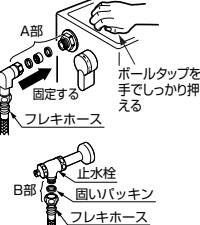
① ボールタップの袋ナットを外す。



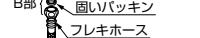
② 袋ナットの中にあるパッキンおよびフィルターを取り除く。



③ フレキホースの袋ナット部にパッキンおよびフィルターを右図のように順番に挿入し、A部を固定する。



④ 次にB部を固定する。



注意

- ・パッキンおよびフィルターを所定の位置にセットする
パッキンを取り付け忘れたたり、取り付けの順番が違うと水漏れして家財などをめらし、財産損害発生のおそれがあります。
- ・ボールタップ、フレキホースを手でしっかりと押えて、袋ナットを締め付ける
手で押えてないとボールタップの位置がずれたり、破損したりして、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

減圧ブッシュの取り扱い

水圧が低く(0.1Mpa以下)タンク貯水に時間がかかりすぎるときは減圧ブッシュを外してセットしてください。(減圧ブッシュを外す場合) (減圧ブッシュをセットする場合)



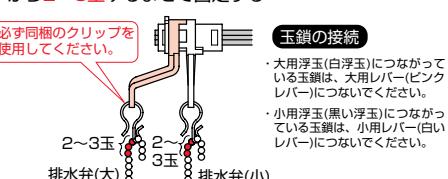
5 排水弁の作動確認

ボールタップと止水栓取り付け完了後は、大洗浄、小洗浄それぞれが正常に作動することを確認してください。大洗浄時は大用浮玉、小用浮玉ともに浮き上がり、小洗浄時は、小用浮玉のみが浮き上がります。

正常に作動しない場合には玉鎖の調節をしてください。

最初は玉鎖を調節せずに、そのままの位置でレバーを接続して動作をご確認ください。レバーを大側に回したときは上下両方の弁が、小側に回したときは上側の弁のみが開くことをご確認ください。正常に作動しない場合は次の手順で調整してください。

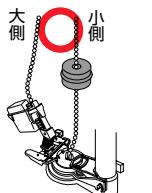
排水弁が上がらない程度に玉鎖を張った状態から2~3玉ゆるませて固定する



注意事項

【玉鎖の長さ調整】

- ・玉鎖がたるみ過ぎたり、張り過ぎたりしていないこと



たるみ過ぎ

ハンドルを回しても弁が開かず洗浄しない

張り過ぎ

張り過ぎ

弁が開いていて止水しない

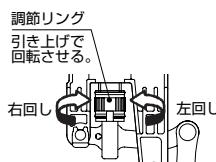
6 水位の調節

タンクの止水位がオーバーフロー管のWL(標準水位)に合うように、次の要領で調節してください。

① 調節リングを引き上げて回すと止水位を上下させることができます。そのとき、浮玉を軽く手で押さえておくとスムーズに回る。90°回すと約8mm水位が変わること(回す方向は上から見たものです)

- ・右回し…止水位が上がりります。
- ・左回し…止水位が下がります。

② 調節が終わったら調節リングを引き下げて確実にロックする。



7 止水栓の調節

浮玉を押し下げて、止水栓を徐々に開いてください。

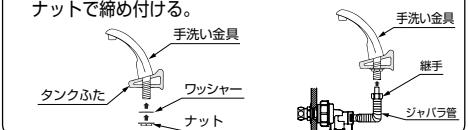
この状態で水面がオーバーフロー管より10mm以上上しない程度に止水栓の開きを調節してください。この調節をしておけば、万一ボールタップが故障しても、タンクの水が外にあふれることはありませんし、給水音も低くなります。



止水栓のない場合は、他の水栓の吐水量に支障のない程度に元バリブを絞ってください。

8 手洗い金具の接続(手洗い付ロータンクの場合)

- ① タンクふたに手洗い金具を差し込み、ワッシャーをはめ、ナットで締め付ける。



- ② ジャバラ管の継手を手洗い金具にねじ込む。



9 手洗い金具の吐水量調節(手洗い付ロータンクの場合)

調節金具をドライバーなどで回し、手洗い金具からの吐水量が適当な水勢になるように調節してください。



10 取り付け完了後の確認

2~3度操作して、水漏れなどの異常がないことを確認してください。なお、冬期間の凍結予防方法についてお客様にご説明ください。

*同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

*BL品(BLマーク証記貼り付け品)において、当社が定める施工説明書などに基づく据付工事の瑕疵には(財)ベターリビングのBL保険が利用できます。

保険の詳細・お問い合わせは、下記ホームページをご覧ください。
(財)ベターリビング ホームページ...http://www.cbl.or.jp/ 電話番号...03-5211-0559